



相模湾に面したリビエラ逗子マリーナ (昨年12月23日、逗子市で、本社ヘリから)



地中海モデルロケ地にも

リビエラ逗子

マリーナ

(逗子市小坪)

相模湾に面し、富士山を望める逗子市小坪の「リビエラ逗子マリーナ」。海を愛する人々のために、地中海のリゾート地をモデルに1971年に開業した。

16万3200平方メートルの施設内にはマンション9棟、プール、レストラン、イベント会場などがある。900本ほどのヤシが立つ並木道など非日常を感じさせる

雰囲気も漂う。異国のような町並みは、多くのドラマやCMの撮影地にも使われてきた。映画「コンフィデンスマンJP」のロケ地としても人気。地元食材を味わえるレストラン、毎月のジャズライブなども目当てに大勢の観光客が訪れる。

マリーナでは、レストラ

ンから出る野菜の切れ端を堆肥にし、自社菜園で無農薬野菜を栽培して食材として提供する循環型農法を採用。岸壁に「薄膜太陽光発電」パネルを設置して再生エネルギーを使うなど環境保全にも貢献する。

2022年には、国際環境教育基金の持続可能な開発目標(SDGs)を評価する国際認証「ブルーフラッグ」を受けた。海外では旅行先を選ぶ際の指標にもなっており、多くの訪日客を呼んでいる。マリーナとしての認証は、アジア唯一という。運営会社「リビエラリゾート」(逗子市)の渡辺華子専務取締役40は「海を存分に楽しめるホテルやサウナもあるので、ぜひ体験してみたい」と話している。



文・日下翔己
空撮写真・加藤祐治
操縦士・中田浩司
千葉啓輔